

適正な水管理と適期刈取りで
高品質・良食味米を生産しましょう



1. 気象情報

■北陸地方1か月予報（新潟地方气象台・8月5日発表）

・暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は平年より高いでしょう。
台風の発生・通過が続いております。今後の台風情報、警報、注意報、気象情報等に十分留意してください。

2. 特栽コシヒカリ生育調査結果（8/5）

項目	本年値	前年比	指標値(前年)比		※調査について
草丈(cm)	107.2	103.2%	-	-	【草丈等数値】 北越後管内定点調査ほ5か所平均値 【指標比・差】 5月10日以降の適期移植の理想生育との比較
茎数(本/株)	373.4	113.2%	106.7%	(並)	
葉数	12.9	-0.1 葉	-0.1 葉	(並)	
SPAD	30.5	-1.4	-2.5	(淡い)	
出穂期	8月4日	-5日	-3日	-	

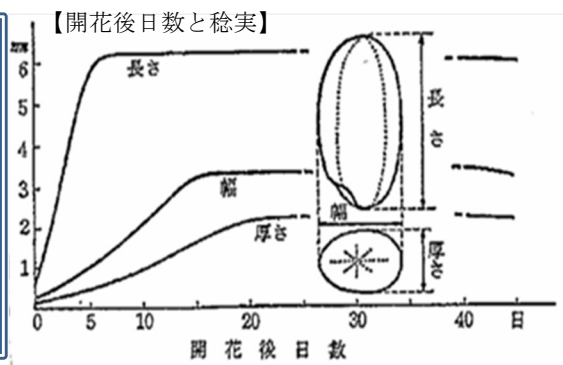
3. 高品質米生産に向けた出穂後の水管理

出穂後25日頃まで湛水管理を継続しましょう。

(1) 高品質・良食味米対策

- 登熟初中期は米粒へのデンプンの蓄積が盛んな時期です。
(米粒に70%程度のデンプンが蓄積される出穂期25日後を落水時期のめやすとしましょう。)
- 早期落水すると下葉の枯れ上がりや倒伏が助長されるため登熟不良により未熟粒が増加し、又、玄米中のタンパク質含有率が高まり食味が低下する要因となります。
- コンバイン収穫に支障がない地耐力を確保できる限り、落水時期は遅めとしましょう。

- ・玄米は、初めに長さが決まります。
- ・次いで幅、最後に厚みが決定します。
- ・厚みが決定する時期は開花後30日頃であるため、早期に完全落水しますと厚みがない米（未熟粒）となる可能性が高まります。



(2) 生育後期まで農業用水を有効利用するため、以下のことに気をつけましょう。

- 掛け流しはやめましょう。
- 水尻・畦畔の漏水対策を徹底しましょう。
- 水更新は、強制落水せず自然減水により行いましょう。

(3) 台風(フェーン)時の水管理対策

強風・フェーンが予想される場合は湛水状態を保ち、被害の軽減に努めましょう。

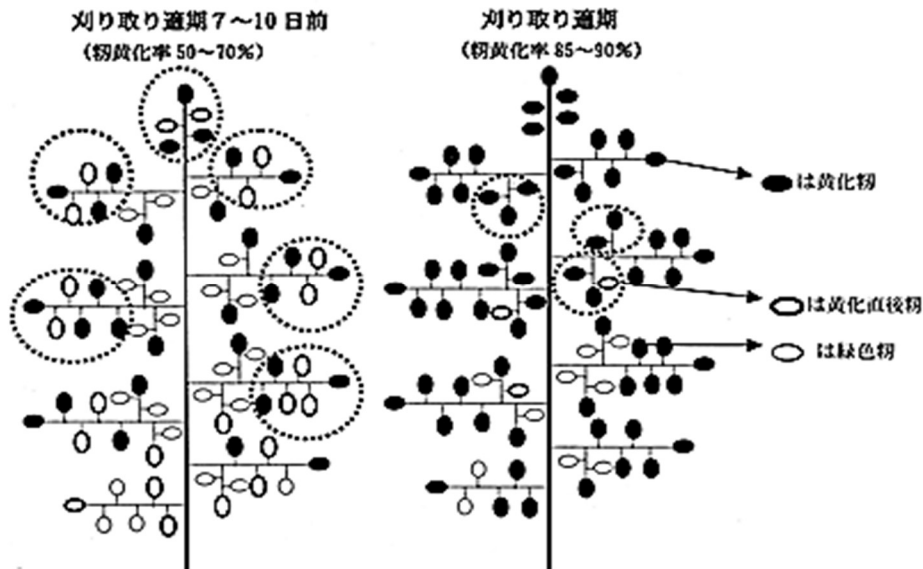
4. 斑点米防止対策

農道・畦畔の草刈りはカメムシの餌となる雑草が結実しない間隔で計画的に実施しましょう。

5. 収穫適期のめやす

収穫適期を的確にとらえて刈遅れを防止しましょう。

1. 黄化籾割合が85%から90%くらいになった頃が収穫適期となります。



図中の点線内の籾（上・中位1次枝梗籾）が黄化した時が刈り取り適期7～10日前

（注）黄化の診断は1次枝梗が9本程度の平均的な穂について行う。調査本数は20穂程度必要である。16本以上が該当すれば7～10日前

図中の点線内（上位3～4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗籾）が黄化した時が刈り取り適期

（注）籾黄化の診断は1次枝梗が9本程度の平均的な穂について行う。調査本数は10穂程度必要である。8本以上が該当すれば刈り取り適期

2. 収穫適期は、出穂後の日数や出穂後の日平均気温の積算値からおおむね推定できます。

品 種	収穫適期目安 (出穂後積算温度)
早生(こしいぶき、ゆきん子舞、わたぼうし等)	975℃
中生(コシヒカリ、こがねもち)	1000℃

○登熟後半が高温条件となって籾水分の低下が早く、立毛胴割れの発生が懸念される場合は収穫開始を上記表より50℃程度（2日程度）早めましょう。

【裏面へ】

📖 栽培記録簿の確実な記帳をお願い致します。

～8月末が2回目の提出日となります～

各購買センター又は文書ポストへ提出をお願い致します。

